

◆◇ もくじ ◇◆

- 1 【重要なお知らせ】
- 2 【イベント】
- 3 【募集案内】
- 4 【お知らせ】
- 5 【消費者の部屋】
- 6 【ひとことメッセージ】
- 7 【ふるさと元気だより】
- 8 【ウェブサイトの新着・更新に関する情報】

読者アンケートのお願い

今後のメールマガジンの内容充実を図るため、読者の皆様にアンケートのご協力をお願いしています。以下のURLよりご回答をお願いします。

<https://www.maff.go.jp/chushi/mailm/magazine/an20260323.html>

1 【重要なお知らせ】

▼中東情勢関連対策ポータルを設置しました

農林水産省では、昨今の中東情勢を踏まえ、支援策や各種相談窓口などの情報をまとめたページを公開しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/chuto_josei.html

▼燃料油や石油製品の供給に関する相談窓口の設置について

燃料油や石油製品等の供給について、流通や取引の状況に影響が及ぶ場合に備えて、事業者の皆様からの情報を受け付ける相談窓口を設置しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/chushi/press/kikaku/260331.html>

▼みどりの食料システム戦略

農林水産省では、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を策定し、中長期的な観点から、調達、生産、加工・流通、消費の各段階におけるカーボンニュートラル等の環境負荷低減事業活動を推進しています。

「みどりの食料システム戦略」全般に関する情報

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyoseisaku/midori/index.html>

▼鳥インフルエンザの正しい知識

政府としては、鶏肉・鶏卵は「安全」であり、我が国の現状において、家きんの肉や卵を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザに感染する可能性はないと考えています。

なお、鳥インフルエンザに感染した鶏肉・鶏卵は市場に出回ることはありません。

詳しくは、こちらをご覧ください。（食品安全委員会ウェブサイト）

https://www.fsc.go.jp/sonota/tori/tori_infl_ah7n9.html

https://www.fsc.go.jp/sonota/tori/tori_iinkai_kangaekata_140424.pdf

また、鳥インフルエンザウイルスは、通常、ヒトに感染することはありません。

しかしながら、感染したトリに触れる等濃厚接触をした場合など、きわめて稀に鳥インフルエンザウイルスがヒトに感染することがあります。

詳しくは、こちらをご覧ください。（厚生労働省ウェブサイト）

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou02/ga.html>

2 【イベント】

☆中国四国農政局から

▼【新着】「第5回こうち農業女子交流会」の開催について

中国四国農政局高知県拠点、女性の活躍を応援するため「第5回こうち農業女子交流会」を令和8年8月4日（火曜日）に開催します。

【開催日時】

令和8年8月4日（火曜日）13時30分～16時30分

【開催場所】

新来島高知重工ホール（高知県立県民文化ホール）4階 第6多目的室
（高知県高知市本町4-3-30）

オンライン（Microsoft Teams）で同時配信

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/chushi/press/kochi/260702.html>

▼【新着】令和8年度「夏休みこども見学デー」～知ってる？私たちの食べものと農業とのつながり～の御案内

夏休みを迎えたこども達とその保護者の方を対象に、毎日の生活や暮らしを支えている地域の「食べ物」や「農業」について理解を深めてもらうことを目的として、中国四国地域の農林水産業が一目でわかる自分だけの「お宝マップ」作り、動植物検疫探知犬によるデモンストラクション、農地周辺に生息する水辺の生きもの観察、お買い物ゲームやトイドローン操作体験・VR視聴等を通じて、こども達が楽しみながら学べるイベントを開催します。

【開催日時】

令和8年8月6日（木曜日）10時00分～16時00分

【開催場所】

中国四国農政局（岡山市北区下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎2階 共用会議室）

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/chushi/press/seikatsu/260701.html>

▼【新着】「令和8年度かがわ女性農業者交流会」の開催及び参加者の募集について

中国四国農政局香川県拠点は、香川県内の女性農業者同士の交流を促進するため、今年で3回目となる「令和8年度かがわ女性農業者交流会」を開催します。

女性は農林水産業の維持・発展や地域活性化において重要な役割を果たしています。本交流会は、女性農業者が情報交換や意見交換を通じて親交を深め、更なる活躍に繋げていただくことを目的としています。

【開催日時】

令和8年8月17日（月曜日）13時30分～16時00分

【開催場所】

高松サンポート合同庁舎南館 1階 102小会議室（香川県高松市サンポート3番33号）

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/chushi/press/kagawa/260629.html>

▼【新着】「農福連携等地域別交流会 in 中国四国農政局」参加者募集！

中国四国農政局は、農福連携のさらなる推進に向けたネットワークづくりを目的として、「農福連携等地域別交流会in中国四国農政局」を令和8年7月16日（13時30分～16時30分）に開催します。参加方法は、会場またはオンラインのいずれかで、農福連携に取り組んでいない方でも関心のある方であれば参加可能です。

本交流会は、農福連携の意義や最新の動向を共有するとともに、実践者や関心を持つ事業者同士が分野や業種を超えて出会い、情報交換する場となることをねらいとしています。地域における農福連携の取組の裾野拡大を通じて、新たな取組の創出や既存の取組の発展に繋がることを期待しています。

農福連携は、農業と福祉が連携し、障害者等の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障害者の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現していく取組です。地域共生社会の実現に向けた重要な施策として各地で広がりが進んでいます。

農福連携に取り組むことで、障害者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性もあります。

【開催日時】

令和8年7月16日（木曜日）13時30分から16時30分まで（受付開始13時15分）

オンライン参加は、13時30分から15時00分まで

【参加方法】

会場参加（15名程度）※行政機関・報道機関等は別枠で参加可能

オンライン（Microsoft Teams 会議）（200名程度）

【開催場所】

中国四国農政局 2階会議室 A・B（岡山県岡山市北区下石井 1-4-1 岡山第2合同庁舎）

【対象者】

農福連携実践団体、農業団体、社会福祉協議会、農業法人、農業者、バイヤー、行政機関等農福連携に関心がある方であれば、取組経験の有無に関わらず参加可能です。

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/chushi/press/tosi_noson/260624.html

▼令和8年度中国四国農政局食育セミナー「いれ方で変わる！？体感しよう！お茶のヒミツ～おいしいお茶のいれ方教室～」

中国四国農政局は、食文化の継承を目的に小学3年生～6年生とその保護者の方を対象に、急須を使ったおいしいお茶のいれ方を体験できる食育セミナーを開催します。今回のセミナーでは、株式会社伊藤園の方を講師にお招きし、おいしいお茶のいれ方のポイントを教えていただきます。体験を通して、親子で飲み比べながら味や香りの違いを楽しみ、日本の食文化にふれてみませんか？この夏の自由研究にもぜひご利用ください。

また、会場での開催に加え、オンライン配信も行いますので、遠方の方もぜひご参加ください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【開催日時】

令和8年7月28日（火曜日）13時30分～15時00分（受付開始13時00分～）

※オンライン配信も同様に13時30分～15時00分

【開催方法】

会場開催およびオンライン配信（YouTube）

【開催場所】

学校法人本山学園 西日本調理製菓専門学校 1階 第2調理実習室
（岡山県岡山市北区大供 3-2-18）

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/chushi/press/seikatsu/260612.html>

☆農林水産省から

▼【新着】令和8年度農林水産省「こども霞が関見学デー」

農林水産省は、令和8年7月29日（水曜日）、7月30日（木曜日）に令和8年度「こども霞が関見学デー」を開催します。特設ウェブサイトを公開しましたので、ご覧いただき、是非夏休みの思い出づくりに農林水産省へお越しください。

なお、事前申込が必要なプログラムについては、特設ウェブサイトにて申込受付を開始します。

【開催日時】

令和8年7月29日（水曜日）、30日（木曜日）

○オンラインプログラム

公開期間：令和8年6月30日（火曜日）から8月31日（月曜日）まで

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/koho/260630.html>

▼【新着】「スマート農業イノベーション推進会議（IPCSA, イブサ）」令和8年度（第2回）総会を開催します！

農林水産省及び農研機構は、スマート農業技術の開発と普及の好循環の形成を推進するため、農業者、民間企業、関係団体、研究機関、教育機関、地方公共団体等の多様なプレーヤーが参画する「スマート農業イノベーション推進会議（IPCSA: Innovation Promotion Conference for Smart Agriculture, イブサ）」を運営しています。IPCSAでは、情報の収集・発信・共有、関係者間のマッチング、人材育成、技術的な検討等を通じ、会員間の自発的なコミュニティ形成の促進を支援しています。

このたび、スマート農業技術の活用を後押しし、関係者間のつながりを広げるため、令和8年7月29日（水曜日）に総会及び交流会を開催します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【開催日時】

令和8年7月29日（水曜日）14時00分から18時15分まで

総会：14時00分から16時45分まで

交流会：17時00分から18時15分まで

【開催場所】

ベルサール芝公園及びオンライン（Microsoft Teams）

（東京都港区芝二丁目7番17号住友芝公園ビル）

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kihyo03/260630.html>

▼【新着】「消費者の部屋」キッチン開設記念セレモニーの参加者を募集します！

農林水産省は、消費者の皆様に対する施策理解の促進及び国産農林水産物の消費拡大を図るため、農林水産省北別館1階に一般の方でも入ることができる「消費者の部屋」を設置し、年間を通して様々な展示を行っています。

この度、「消費者の部屋」では、来場者への施策に関する理解をより深めるとともに、試食を通じた体験型の情報発信の充実を図るため、約6か月にわたるキッチンの改修工事を行い、試食提供が可能な体制を整えました。このことを記念し、令和8年7月21日（火曜日）にリニューアルセレモニーを開催いたします。

また、当日は全国農業協同組合中央会（JA全中）と連携したイベントも実施いたしますので、本セレモニーと併せて参加していただける小学生と保護者の方（2名15組）を募集いたしますので奮ってご応募ください。

【開催日時】

10時45分から11時40分まで 食に関するミニ講座（農林水産省、JA 全中）

11 時 40 分から 12 時 00 分まで 休憩（室内の展示ご覧いただけます。）

12 時 00 分から 12 時 30 分まで キッチン開設記念セミナー

【開催場所】

農林水産省北別館 1 階「消費者の部屋」展示室（東京都千代田区霞が関 1-2-1）

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/260623_1.html

▼【新着】☆農業参入に興味がある企業・法人のみなさまへ☆「農業参入フェア 2026」を開催します！

農業参入を希望する企業・法人を対象に、講演や事例発表、都道府県等関係機関との個別相談を通じて、農業参入に必要な情報収集やマッチングができる絶好の機会です！農業参入フェアにぜひご来場ください。

【開催日時】

大阪会場：令和 8 年 12 月 8 日（火曜日）13 時 00 分～17 時 00 分

東京会場：令和 8 年 12 月 17 日（木曜日）13 時 00 分～17 時 00 分

【開催場所】

大阪会場：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）（大阪府大阪市北区中之島 5 丁目 3-51）

東京会場：東京国際フォーラム（東京都千代田区丸の内 3 丁目 5-1）

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/sannyu/sannyufair.html>

▼【新着】☆農業参入に興味がある企業・法人のみなさまへ☆農業参入のヒントが見つかる！？「第 1 回オンライン情報交換会」を開催します！

先行参入企業の事例や農業参入に関する情報をオンラインで紹介します。事業計画の検討や農業参入フェアへの参加に向けた情報収集の機会としてご活用ください。なお、視聴参加については、事前申込が必要となります。下記ウェブサイトにて申込を開始しております。ぜひご参加ください。

【開催日時】

令和 8 年 8 月 6 日（木曜日）14 時 00 分～15 時 30 分

【テーマ】

食品産業に学ぶ参入を具体化するヒント

【出演者】

ファシリテーター株式会社浅井農園 代表取締役 CEO 博士（学術）浅井 雄一郎氏

【参入企業】

（1）農業法人デリカファーム株式会社 代表取締役社長

（兼）デリカフーズ株式会社 取締役（仕入管掌役員）三好 正浩氏

（2）株式会社サンマルクホールディングス 経営企画室農事業開発プロジェクトリーダー

（兼）株式会社サンマルクファーム 取締役 原田 悠士氏

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/sannyu/sannyufair.html>

▼「こどもの森づくりフォーラム in 高知」の参加者を募集します

こどもの森づくりフォーラム実行委員会（公益社団法人国土緑化推進機構、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク、（公財）ニッセイ緑の財団、高知県、高知市、（公社）高知県森と緑の会、林野庁）は、第78回全国植樹祭の関連事業として、令和8年9月13日（日曜日）に、高知県高知市において「こどもの森づくりフォーラム in 高知」を開催します。

【開催日時】

フォーラム：令和 8 年 9 月 13 日（日曜日）13 時 00 分～17 時 30 分

分科会：令和 8 年 9 月 13 日（日曜日）10 時 00 分～11 時 45 分

【開催場所】

新来島高知重工ホール（高知県高知市本町4丁目3-30）

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/sanson_ryokka/260529.html

3 【募集案内】

☆中国四国農政局から

▼「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」募集開始！

農林水産省は、「強い農林水産業」と「美しく活力ある農山漁村」の実現にむけて、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」と称して令和8年8月31日（月曜日）まで、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる事例を募集します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/chushi/press/shinko/260615.html>

▼農福連携に取り組む優れた事例を表彰！「ノウフク・アワード2026」募集開始！

「ノウフク・アワード2026」は、農福連携に取り組んでいる優れた事例を表彰するものです。

農福連携は、農林水産業と福祉等の多様な人材が連携し、障害者等の社会参画、農林水産業の維持発展等を実現する取組です。

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/chushi/press/tosi_noson/260615.html

☆農林水産省から

▼【新着】「第4回高校生とつながる！つなげる！ジニアス農業遺産ふーどコンテスト」開催

農林水産省は、農業遺産地域の魅力を広く発信し、地域活性化を図る取組の一環として、農業遺産地域の高校生を対象に、令和8年7月1日（水曜日）から9月30日（水曜日）まで、当該地域の産品を使った食品又は料理のアイデアを募集します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kantai/260701.html>

▼【新着】農山漁村の課題解決に資する取組を国が証明し、実装していくプログラムの募集がスタートします！

農林水産省は、農山漁村の課題解決に貢献し、今後も継続することが見込まれる企業等の取組に対して証明書を発行する「取組証明書」、取組が特定の社会的・環境的インパクトの創出につながっていることまでを証明する「インパクト証明書」の発行に向けた募集を行います。

また、農山漁村の課題を解決し、社会や環境に対するインパクトを創出し得る取組を「『農山漁村』インパクト創出ソリューション」として募集し、選定した取組をカタログに取りまとめ、地域金融機関の伴走支援の下、農山漁村とのマッチングを通じた実装を図ります。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nousei/260630.html>

▼【新着】食品産業の海外展開に係る新事業創出部会への参加者を募集します

農林水産省は、グローバル・フードバリューチェーン推進官民協議会（GFVC）の活動の一環として、「新事業創出部会」を新たに設置し、食品産業の海外展開に当たっての新たなビジネス機会の創出を目指します。特に本年度は、農林水産物・食品の輸出及び流通に不可欠な海外のコールドチェーン構築に係る対応策のとりまとめを予定しています。

本部会の第1回会合を令和8年7月24日（金曜日）に開催するにあたり、参加者を募集します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/kaitaku/260626.html

▼【新着】食育基本法及び第5次食育推進基本計画の説明会（関係団体、一般向け）について

法改正の背景や内容、改正食育基本法を踏まえた第5次食育推進基本計画やその具体的な取組についてご紹介し、多様な関係者等が連携・協働した新たな食育の展開を図っていくことを目的として、本説明会を開催します。説明会への参加を希望される方は、事前の申込みが必要です。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/setumeikai.html>

▼「雇用就農資金」令和8年度第2回目の募集を実施します

農林水産省では、雇用就農者の確保・育成を推進するため、50歳未満の就農希望者を新たに雇用する農業法人等に対して「雇用就農資金」を交付しています。

この度、事業実施主体である一般社団法人全国農業会議所（全国新規就農相談センター）において、令和7年10月1日（水曜日）から令和8年6月1日（月曜日）の間に就農希望者を新たに雇用了農業法人等を対象に、令和8年7月22日（水曜日）まで令和8年度第2回目の募集を実施します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
<https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/zinzai/260618.html>

▼GAP（農業生産工程管理）の優れた取組を募集します！

農林水産省は、持続可能な農業の確立を目指し意欲的に経営や技術の改善、普及等に取り組んでいる農業者、農業団体、流通・加工業者、自治体、教育機関等を表彰する「令和8年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール」を実施します。なお、当コンクールは令和6年度からGAP部門及び有機農業・環境保全型農業部門の隔年開催とし、令和8年度においては「GAP部門」のみ募集をいたします。自薦他薦は問いません。令和8年6月16日（火曜日）から募集を開始しますので、奮ってご応募ください。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kankyo/260616.html>

▼農作業中の熱中症対策を呼び掛ける「令和8年度熱中症等対策声かけ隊」を募集します

農林水産省は、本年7月から9月にかけて、農業者に対する「夏の熱中症等対策声かけ期間」を推進するとともに、同期間に声かけ活動に取り組んでいただける方を募集します。また、声かけ活動に取り組む者に対しては、大塚製薬（株）と連携し、先着でイオン飲料を提供し、水分補給を促す活動を支援します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/sizai/260615.html>

▼「農福連携サポーターズ（応援企業）」による取組事例を募集します！

農福連携等応援コンソーシアム（事務局：農林水産省）は、農福連携等に取り組む事業者に対するサポート等を行う企業・法人等の募集を行います。コンソーシアムの会員が「もっと広げてほしい」と評価する優良な取組を表彰し、感謝状を授与する企業を選定します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/260615_1.html

▼令和8年度「農業技術功労者表彰」における候補者の募集を開始します

農林水産省は、農業及びその他関連産業に関する研究開発の一層の発展並びに農業技術者の一層の意欲向上に資するため、公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会と共催で、令和8年度「農業技術功労者表彰」の候補者の募集を開始します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/260605.html>

▼食育を推進する優れた取組を募集します！～「第11回食育活動表彰」候補の募集開始について～

農林水産省は、ボランティア活動、教育活動又は農林漁業、食品製造・販売等その他の事業活動を通じて食育を推進する取組を募集します。優れた取組は、第22回食育推進全国大会で表彰する予定です。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/260601.html>

▼令和8年度「SAVOR JAPAN」の募集を開始します。

農林水産省は、地域の食とそれを生み出す農林水産業を核として訪日外国人の誘致を図る地域の取組を「SAVOR JAPAN」として認定し、我が国が誇る農山漁村の食の魅力を広く一体的に発信しています。

令和8年度新たに「SAVOR JAPAN」として認定する地域の取組を令和8年6月1日（月曜日）から7月31日（金曜日）まで募集します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/260529.html>

▼令和8年度「輸出に取り組む優良事業者表彰」募集開始！

農林水産物・食品の輸出の発展に向け、「地域ぐるみでの輸出産地の形成」、「輸出可能品目の拡大」、「新たなジャンル（健康食品、中食）の開発」、「輸出ロットの拡大等による価格競争力の強化」、「新市場の開拓」、「輸入規制の緩和・撤廃への働きかけ」などの観点から顕著な実績を挙げている農林水産物生産者、企業、団体及び個人を広く発掘し、その取組内容を表彰、食品の輸出に関心のある方々に広く周知することにより、新たに輸出にチャレンジする方々への一助となることを目的として「輸出に取り組む優良事業者表彰」を実施します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/s_keisei/260525.html

▼第2回「食と農をつなぐアワード」募集開始

農林水産省は、「ニッポンフードシフト」事業の一環として、生産者・食品事業者から消費者まで、食と農をつなぐ優良な取組を募集しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/260525_1.html

▼第2回「FOOD SHIFT セレクション」募集開始

農林水産省は、「ニッポンフードシフト」事業の一環として、国産農林水産物を積極的に選んでもらうため、「FOOD SHIFT セレクション」の候補となる産品を募集しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/260525.html>

▼【マレーシア進出を検討中の食品関連企業の皆様】現地官民ミッションへの参加者を募集します

農林水産省は、令和7年4月に閣議決定された食料・農業・農村基本計画を受け、農林水産物・食品の輸出拡大との相乗効果を図る観点から、食品産業の海外展開に向けた取組を強化しています。

この一環として、マレーシアへの海外ビジネス展開に関心を持つ食品製造業、外食産業等の食品関連企業を対象として、令和8年9月6日（日曜日）から9月10日（木曜日）までの期間、現地へ官民ビジネスミッションを派遣しますので、参加者を募集します。

本ミッションでは、現地政府機関・関連企業への訪問、意見交換等を予定しており、現地の状況を捉える絶好の機会になりますので、是非ご参加ください。

【訪問日程】

令和8年9月6日（日曜日）から9月10日（木曜日）まで

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/kaitaku/260424.html

▼第3回みどり戦略学生チャレンジの参加登録を開始します！

農林水産省では、高校生・大学生等を対象に、「みどりの食料システム戦略」に関わる取組を募集する「みどり戦略学生チャレンジ」を実施しています。

第3回みどり戦略学生チャレンジでは、第2回に引き続き、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会の後援を受け、「GREEN×EXPO 2027賞」を創設しています。

参加登録期間は4月15日（水曜日）から7月31日（金曜日）まで。皆様のご応募をお待ちしています。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/260415.html

4 【お知らせ】

☆中国四国農政局から

▼【新着】ドローン等の飛行禁止エリアの拡大等について

6月24日に「重要施設の周辺地域の上空における小型無人機等の飛行の禁止に関する法律の一部を改正する法律」が公布され、7月14日から施行されることとなりました。本改正によりドローン等の飛行禁止エリアが拡大され、罰則が創設されます。

詳しくは、こちらをご覧ください。（警察庁ウェブサイト）

<https://www.npa.go.jp/bureau/security/kogatamujinki/kouhou.html>

☆農林水産省から

▼【新着】食品安全マネジメント認証取得相談窓口について

農林水産省では、「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」に基づき、食品の輸出促進に向けた取組の一環として、令和7年度食品安全国際認証取得推進事業（国際認証取得相談窓口設置等委託事業）を実施しております。本事業では、輸出に当たり重要となる食品安全マネジメント認証の取得に関する課題や疑問に対応するため、展示会等の場において国際認証取得相談窓口を設置します。これから食品輸出に取り組むことを検討されている方をはじめ、すでに取り組んでいる事業者の皆様を対象に、全5回の相談窓口を開設いたします。お気軽にご参加ください。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/kigyosho/260701.html>

▼【新着】「2025年農林業センサス農山村地域調査（農業集落調査）結果の概要」の公表について

農林水産省は、「2025年農林業センサス農山村地域調査（農業集落調査）結果の概要」を取りまとめました。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/tokei/census/260630.html>

▼【新着】WFP・民間企業と連携してセネガルで食料システム構築事業を開始します

令和8年6月29日（月曜日）、農林水産省はセネガルでCRAFT（Climate Resilient Agriculture

and Food Transformation)事業のローンチングイベントを開催し、地域の食料安全保障を図るための事業をWFP(国連世界食糧計画)と連携して開始しました。本事業の構想は令和7年8月に横浜で開催されたTICAD9(アフリカ開発会議)において発表されており、農林水産省はWFP及び民間企業と連携して、日本企業による西アフリカ地域への進出を後押し、地域における持続可能な食料システムの構築を目指していきます。

詳しくは、こちらをご覧ください。(農林水産省ウェブサイト)
https://www.maff.go.jp/j/press/y_kokusai/kikou/260630.html

▼【新着】「夏の熱中症等対策声かけ期間」が始まります

農林水産省は、近年、夏季の高温化に伴い農作業中の熱中症リスクが高まっていることを踏まえ、熱中症の危険性や基本的な予防行動の啓発を行う「夏の熱中症等対策声かけ期間」を設定し、「いのちをうばう、夏のひとり作業」をキャッチフレーズに、農業者の皆様への声かけ運動を全国で展開します。

詳しくは、こちらをご覧ください。(農林水産省ウェブサイト)
<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/sizai/260630.html>

▼【新着】「農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用に関する法律」に基づき開発供給実施計画を認定しました

農林水産省は、農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用に関する法律(令和6年法律第63号。)に基づき、12事業者から申請された開発供給実施計画の認定を行いました。また、既に認定された開発供給実施計画のうち、1事業者から申請された計画変更の認定を行いました。

詳しくは、こちらをご覧ください。(農林水産省ウェブサイト)
<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/260630.html>

▼【新着】グリーンインフラの取組に活用可能な支援制度集をとりまとめました

グリーンインフラの活用に取り組もうとする地方公共団体や民間事業者に向け、令和8年度版「グリーンインフラ支援制度集」を公表しました。
令和8年度版では4件の制度を新規追加し、計43件の制度を掲載しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。(農林水産省ウェブサイト)
https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/260630.html

▼【新着】野菜の生育状況及び価格見通し(令和8年7月)について

東京都中央卸売市場に出荷される野菜の生育状況及び価格の見通しについて、主産地等からの聞き取りを行った結果を公表しました。

詳しくは、こちらをご覧ください。(農林水産省ウェブサイト)
<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/engei/260630.html>

▼【新着】事業系食品ロス量(2024年度推計値)を公表

農林水産省は、食品ロス削減の取組を一層促進するために、食品関連事業者から発生する事業系食品ロス量の推計を行い、消費者庁、環境省とともに公表しています。

2024年度の食品ロス量は461万トン(前年度比▲3万トン)、このうち事業系食品ロス量は237万トン(前年度比+6万トン)となり、2000年度比で57パーセント削減となりました。

詳しくは、こちらをご覧ください。(農林水産省ウェブサイト)
<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/260630.html>

▼【新着】地域生物多様性増進法に基づく「自然共生サイト」の認定(令和8年度第1回)について

令和7年4月、「地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律」が施行され、企業等による生物多様性の増進活動の計画について主務大臣（環境大臣、農林水産大臣及び国土交通大臣）による認定制度が開始されました。

この度、令和8年度第1回認定として、56か所を自然共生サイトとして認定いたしました。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/260630_1.html

▼【新着】環境負荷低減の「みえるらべる」の取得手続きが楽になります！（2026年6月）

このたび、農林水産省は、農業データ連携基盤（WAGRI）のAPIとして提供している「環境負荷低減の見える化システム」4件目の接続先として、AGBIOTECH株式会社が提供する「バイオアプリ」（BioApp）と連携し、令和8年7月1日（水曜日）から「みえるらべる取得機能」の提供を開始しました。

農林水産省では、今後とも営農管理アプリ等との連携拡大を図り、生産者の「みえるらべる」取得の利便性向上を目指してまいります。ぜひ「見える化」の取組をご検討ください。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/260629.html

▼【新着】「みどり脱炭素海外展開コンソーシアム」令和8年度第1回セミナーの開催について

農林水産省は、今年度も「みどり脱炭素海外展開コンソーシアム」のセミナーを開催します。本セミナーでは、官民連携による案件形成の促進や参加者間のネットワーク強化等を目的として、金融機関等の取組を紹介し、さらに、テーマ別取組紹介として「MRV（測定・報告・検証）」を取り上げ、最新の技術・取組事例を紹介し、

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/260626.html

▼【新着】「みどり加速化GXプラン」を決定しました！

農林水産省は、6月25日（木曜日）に農林水産大臣を本部長とする「みどりの食料システム戦略本部」の第18回会合を開催し、「みどり加速化GXプラン（通称：MIDORI BOOST）」を決定しました。会議資料は、農林水産省のウェブサイトで公開しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/260625.html

▼【新着】「第5次食育推進基本計画」の決定について

農林水産省は、令和8年5月27日（水曜日）に公布・施行された改正後の食育基本法の基本理念や基本的施策等を具体化し、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくため、令和8年度からおおむね5年を計画期間とする第5次食育推進基本計画を作成しました。

また、令和8年6月24日（水曜日）、農林水産省は、鈴木農林水産大臣を会長とする第9回食育推進会議を開催し、同基本計画を決定しました。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/260624.html>

▼【新着】農業競争力強化支援法に基づく事業再編計画の認定について（らくのう乳業株式会社）

農林水産省は、らくのう株式会社（法人番号：7380001035629）から提出された「事業再編計画」について、令和8年6月24日付けで認定を行いました。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/chikusan/c_gyunyu/260624.html

▼【新着】令和7砂糖年度の「砂糖及び異性化糖の需給見通し」について

農林水産省は、砂糖等に関して適切な価格調整を図るため、令和7砂糖年度及び同年度7月から9月期における砂糖及び異性化糖の需給見通しを作成しましたのでお知らせします。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/chiiki/260624.html>

▼農業経営発展計画制度について

令和7年4月1日より、農業経営発展計画制度が始まっています。

この制度は、農地所有適格法人が、出資により食品事業者等との連携措置を通じて農業経営を発展させるための計画（農業経営発展計画）について、農林水産大臣の認定を受けた場合に、議決権要件を特例的に緩和できるものです。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/241017.html>

▼国内における鳥インフルエンザの発生状況について

令和7年シーズンは、家きん農場において国内で24例、うち中国四国地域では鳥取県、岡山県及び香川県で各1例の高病原性鳥インフルエンザが発生しています。

このため、農場におけるウイルスの侵入防止対策の強化をお願いします。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/r7_hpai_kokunai.html

5 【消費者の部屋】

☆中国四国農政局から

▼「消費者の部屋」展示のご案内

「消費者の部屋」の展示コーナーでは、施策に関するパンフレットやイベント情報を紹介するとともに、農林水産行政、農業・農村や食生活などからテーマを決めて情報提供を行っています。

【設置場所】

岡山市北区下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎1階

中国四国農政局「消費者の部屋」展示コーナー

▽【新着】テーマ：「新品種は日本の農業に発展をもたらす貴重な財産です」

新品種は我が国の農業に発展をもたらす貴重な財産です。種子や苗（以下「種苗」という。）は、農業生産の基盤となる重要な資材です。

農研機構 種苗管理センターでは、品種登録に係る栽培試験及び品種保護対策（育成者権の侵害対策支援）、農作物の種苗の検査、ばれいしょ・さとうきびの原原種の生産、研究部門と連携した新品種の早期普及などを行っています。

今回の「消費者の部屋」の展示では、種苗の重要性、種苗法に基づく取組のほか、農研機構 種苗管理センターのことについてパネルでご紹介します。

【開催期間】

令和8年7月6日（月曜日）～令和8年7月24日（金曜日）

9時00分～17時00分

（土曜日、日曜日、祝日を除く。最終日は13時まで）

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/chushi/press/seikatsu/260622.html>

6 【ひとことメッセージ】

家庭での情景から思う新しい技術

前局次長 猪上 誠介

昨今とみに話題の生成AI、私はせいぜい検索の進化版として使う程度ですが、我が家では学生の愚息が試験前になると、AIの画面の前で何やら熱心に作業を行っています。授業内容のポイントを整理してもらったり、分からないことについて質問したりしているようです。欠席した授業についても、周囲から情報を得たりしながらAIに整理や解説を手伝ってもらっているのだとか。レポートは自力で書けよ、とは言わずに信じることにしています。

私も試しに、AIに中国四国農政局の紹介を依頼してみると次のように答えてくれました。

「中国四国農政局は農林水産省の地方機関で、中国・四国地域の農業や食料に関する政策を現場で実施しています。農業生産の振興や担い手支援、食品の安全確保、農地や水路の整備、農村振興、統計調査などを担い、地域の農業と食料供給を支えています。」

言語変換、字数やレベルの指定、強調したいポイントの設定など、各種の変換や調整も自由自在にこなしてくれるのですね。古文調べの変換を依頼してみると、「・・・農の営みを興し、民の食の安きを守り、田地や水路を修め、里の栄えを助けつつ、世の食料を絶えざらしめんと力を尽くす官庁なり。」

リズムがよく、パンチも効いています。単なる直訳ではない、柔軟な解釈と表現に感嘆させられました。

ビジネス、生活、教育等さまざまな分野で、効率性等の確かな利便性、そして懸念を伴いながら、技術は急速に進歩し、私たちの暮らしに浸透しつつあります。皆さんはどのように活用されていますか？

7 【ふるさと元気だより】

梅雨を彩る島根県生まれのアジサイ

島根県拠点

梅雨の時期を彩る花といえば、アジサイを思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。

島根県では、生産者、市場、県の関係者からなる「アジサイプロジェクト」を2005年に立ち上げ、品種育成から生産、販売まで一体となってブランド化に取り組まれています。

育成された島根県のオリジナル品種は、ジャパンフラワーセレクションでフラワー・オブ・ザ・イヤーに輝いたグラデーションが美しい「万華鏡」（2012年受賞）、大きな装飾花と小花のコントラストが楽しめる「銀河」（2016年受賞）をはじめ、落ち着いた色合いの「美雲（みくも）」、たくさんのピンクの花とコンパクトな草姿の「茜雲」、小花の色づくコントラストが楽しめる「星あつめ」、白色のうさぎの耳を思わせる伸びやかな花弁の小花が印象的な「月うさぎ」の6品種で、島根県アジサイ研究会の会員により栽培されています。そして今年、7番目の品種として、白い縁取りの中に青やピンクが映える大きな装飾花が特徴の「瑠璃（るり）るらら」が加わり、試験出荷が始まりました。

バリエーション豊かな島根県生まれのアジサイを、ぜひ一度ご鑑賞ください（GREEN×EXPO 2027 出展予定）。

島根県農林水産部産地支援課ホームページ

https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/seisan/engei_shinkou/kaki/shin_hinsyu.html

島根県アジサイ研究会ホームページ

<https://ajisai-k.jp/index.html>

8 【ウェブサイトの新着・更新に関する情報】

政策情報

【農業生産】

令和8年5月の米穀流通の動向（集荷、販売、民間在庫）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/260630.html>

指定野菜の入荷量及び卸売価格の見通し（令和8年7月）

https://www.maff.go.jp/chushi/press/se_tokusan/260630.html

令和7年産米の相対取引価格・数量について（令和8年5月）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/260617.html>

米に関するマンスリーレポート（令和8年6月号）の公表について

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/260618.html>

【統計情報】

令和7年産麦類生産費

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/seisanhi_nousan/#y2

令和7年産なたね生産費

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/seisanhi_nousan/#y9

2025年農林業センサス農山村地域調査（農業集落調査）結果の概要

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noucen/index.html>

令和8年農業構造動態調査結果（令和8年2月1日現在）

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukou/#y>

令和7年産花きの作付（収穫）面積及び出荷量

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kaki/#y

令和6年産地域特産野菜生産状況調査結果

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/tokusan_yasai/#r

令和7年特用林産物生産統計調査結果

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/tokuyo_rinsan/#y

【採用情報】

<https://www.maff.go.jp/chushi/org/recruit/index.html>

【報道・広報】

◇ニュースレター

https://www.maff.go.jp/chushi/kohoshi/mag_newsletter/

◇BUZZ MAFFチャンネル（YouTube）

- ・ちゅーしのじかん最新動画

美東ごぼうの収穫現場へ直撃！ごぼうの美味しさの秘密とは…？

https://www.youtube.com/watch?v=Cn_4NKw2FIE

- ・高知を愛しちゅう最新動画

「いたどり」を採って食べてみた

<https://www.youtube.com/watch?v=zdlNuBo3evg>

- ・広島の話をしよう最新動画

【J-クレジットの取組】広島の話をしようVo1.4

<https://www.youtube.com/watch?v=E4Q8Hzz6ad8&list=PLVc03uX0IwZv9XtGfkZmqc9rcPUddTf2M&index=1>

中国四国農政局の「BUZZ MAFF（ばずまふ）」

<https://www.maff.go.jp/chushi/pr/buzzmaff/index.html>

【申請・お問い合わせ】

◇発注・入札情報、その他公表事項

<https://www.maff.go.jp/chushi/nyusatsu/>

【その他】

◇農政局ウェブサイト新着情報

<https://www.maff.go.jp/chushi/sintyaku/>

編 集 後 記

岡山に引っ越して2年目。昨年は花を植える程度だった庭も、今ではすっかり趣味の一つになりました。さらに、歳のせいかな盆栽にも手を出し、気付けばどっぴり沼にはまっています。土いじりをしていると、子どもの頃以来見かけていなかった虫たちとも再会し、自然の豊かさを身近に感じるようになりました。多趣味と言われますが、植物と向き合う時間が一番「無」になれる気がします。今年こそは天然ウナギを食べてしっかり精を付け、暑い夏の庭仕事も元気に乗り切りたいと思います。（す）

◆このメールマガジンは、農政情報をタイムリーにお届けするために、登録して頂いた方々に配信しています。配信の変更などはこちらからどうぞ。

<https://www.maff.go.jp/chushi/mailm/>

◆メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには、農林水産省ウェブサイト

⇒<https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

「3PDFファイルについて」をご覧になり、「Get Adobe Reader」のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。

◆メールマガジンへのご意見・ご要望、または転載を希望する場合はメールでお知らせください。寄せられたご意見などは、メールマガジンで紹介させていただくこともございます。

◆中国四国農政局 お問い合わせ窓口

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/161125.html>

◆中国四国農政局 ウェブサイトURL

<https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆中国四国農政局 公式X（旧ツイッター）

https://x.com/MAFF_CHUSHI

◆編集

〒700-8532 岡山市北区下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎

中国四国農政局 企画調整室 電話：086-224-4511(代)（内線2111）

最後までお読みいただき、ありがとうございました。